

技術系人材育成小委員会報告

＝準会員の皆様へのアンケート準備中＝

研修委員会では、準会員である修習技術者の皆さんにとって、技術士へ向けた支援プロセスの仕組みは如何にあるべきかを主なテーマとして、1年半にわたり若手の人材育成のあり方について検討してきました。その参考資料といたく、現行の初期専門能力開発（IPD：Initial Professional Development）の仕組みやあるべき姿などについて、準会員の皆さんを対象として、日本技術士会に期待する内容や要望を把握するためにアンケートを行い分析・評価する準備をすすめています。まもなく、3800名の準会員の皆様へアンケートをお送り致します。

よろしくご協力をお願いします。

「修習技術者制度」初期専門能力開発に関するアンケートについて（案）

（アンケートの主旨）

研修委員会は、修習技術者制度の初期専門能力開発段階における自己研鑽の重要性に鑑み、技術士の資質向上を目指した「技術士 CPD(継続研鑽)制度」と同じように、修習技術者の技術能力向上において最も成長する時期である初期専門能力開発について検討中である。

検討にあたり、現行の初期専門能力開発に関する仕組み及びあるべき姿などについて、修習技術者を対象にアンケートし分析評価する。また、修習技術者が真に日本技術士会に期待する内容を把握し、要求されるサービスの実現に向け条件整備していくことも合わせて検討する。

研修委員会は、修習技術者の現状を把握し、修習技術者の取組みや要望などを整理のうえ分析・評価し、初期専門能力開発制度の検討を行う。

（修習技術者のIPDと技術士CPD・・・）

将来の技術士を目指す修習技術者は、継続的な修習が必要であり、また第一次試験合格者（または認定された教育課程の修了者）の実務経験を積む過程は、専門技術者へと成長しつつけていく過程であると位置付けられている。

日本技術士会は、修習技術者が技術能力を高めていく初期の修習課程を「初期専門能力開発（IPD:Initial Professional Development）」と呼び、将来の技術士にふさわしい専門的学識および高等の専門的応用能力と適性を身につけるため『修習技術者のための修習ガイドブック』により、修習環境や基本課題（修習事項）、備えるべき能力基準（達成目標、能力要件）などを示し、さらにはマネジメントサイクルPDCAに基づく指導者・修習者の展開プログラムや日本技術士会が提供するカリキュラムなどを具体的に示している。

一方、技術士は、技術士法第47条2により“知識及び技能の水準を向上させ、資質向上に努めなければならない”と責務として位置付けられ、継続研鑽（CPD:Continuing Professional Development）に努めるため『技術士CPDガイドブック』により、CPD区分や課題項目、CPD時間・実績目標などを示し、さらに技術士会はCPD記録・登録や登録証明書の発行、CPD認定会員制度など公的証明書発行のサービスを行う制度になっている。なお、CPD記録は、「Web」の登録が可能で、容易かつ迅速に安価な手数料で電子化登録できる特徴がある。（注：「文書」でも登録可能）

（修習技術者の IPD と技術士の CPD との違い）

技術士のCPD実績や修習技術者のIPD実績を重視する傾向は、今後とも拡がることが予想され、社会のニーズにあわせた制度の確立がますます重要になっている。

修習技術者と技術士の能力開発において、

- 修習技術者のIPDは、計画⇒実施⇒確認（「監督内容証明書」に適用）の自己自主管理
- 技術士のCPDは、計画⇒実施⇒申請・登録⇒証明までシステムとして確立

されている。

特に、修習技術者は、公共事業参画時のCPD記録の提出、関係学協会との連携によるCPD記録、倫理要綱・行動基準に関するCPD記録などの実績について登録・証明の手段が限定されている一方、経路1、経路2を歩む修習技術者を指導する立場の指導技術士、指導技術者からは適切な指導、助言を行うために「IPD 記録を活用したい」との要望もある。

以上

「修習技術者制度」初期専門能力開発に関するアンケートについて（案）

回答者の立場	1Q1. 技術士制度において、現在のあなたに該当する項目を一つ選んで下さい。
	1Q2. あなたは修習技術者または技術士補(以下修習技術者という)になってから、どのくらいの年数ですか。
	1Q3. 現在のあなたの職業を一つ選んで下さい。
技術士第二次試験に関する質問	1Q4. あなたが技術士二次試験を受験する場合の技術部門を一つ選んで下さい。
	1Q5. 技術士二次試験受験には、3つの方法による実務経験が必要です。あなたはどの方法で実務経験を積む予定ですか。一つ選んで下さい。
	1Q6. 技術士二次試験受験の実務経験において、あなたの所属する機関に指導者はおりますか。(複数選択も可)
	1Q7. 技術士二次試験の受験予定はいつ頃ですか。一つ選んで下さい。
	1Q8. 最初に受験した時期を選んで下さい。
	1Q9. 今後の受験予定を一つ選んで下さい。
	1Q10. 技術士二次試験の受験回数を一つ選んで下さい。
実務経験/修習	1Q11. 修習技術者になってからの具体的な修習方法について選んで下さい。(複数選択も可)
	1Q12. 技術士二次試験受験要件である実務経験について、日本技術士会に支援を望みたいことはありますか。
IPD制度・ガイドブックに関する質問	2Q1. 日本技術士会が提供している年間修習講座を知っていますか。
	2Q2. 日本技術士会が提供している研修講座と研修行事を活用していますか。
	2Q3. 日本技術士会発行「修習技術者のための修習ガイドブック」(以下「ガイドブック」という)を知っていますか。(持っていますか。使っていますか。)
	2Q4. 「ガイドブック」に則り、修習計画を作成して修習を実施していますか。
	2Q5. 「ガイドブック」には、経歴を積んでいくための事例を掲載してありますが有効に活用していますか。
	2Q6. 「ガイドブック」の具体的な活用事例を紹介して下さい。
	2Q7. 「ガイドブック」に追加希望する記載内容を紹介して下さい。
	2Q8. 修習を実施するうえで、日本技術士会に支援を期待する事項を選んで下さい。(複数選択も可)
	2Q9. 「ガイドブック」は、技術士二次試験(筆記)を受験するための IPD として有効ですか。
	2Q10. 「ガイドブック」は、技術士二次試験(口頭)を受験するための IPD として有効ですか。
	2Q11. 技術士二次試験(筆記)受験に向け、具体的な受験準備方法を選んで下さい。(複数選択も可)
	2Q12. 修習技術者として、日本技術士会に最も期待することは何ですか。下記項目にあれば選んで下さい。項目以外は自由に記載して下さい。
技術士会への入会	3Q1. 技術士二次試験に合格し技術士になった場合、正会員として日本技術士会に入会しますか。(選択後の指示あり)
	3Q2. 入会する主な目的は何ですか。(複数選択も可)
	3Q3. 技術士になっても、正会員として日本技術士会に入会しない理由は何ですか。(複数選択も可)
	3Q4. 入会可否で悩む理由は何ですか。(複数選択も可能です)
	3Q5. 技術士二次試験の準備において苦勞していることがありましたら参考にお聞かせ下さい。また、日本技術士会への要望がありましたらあわせてお聞かせ下さい。
部会についての質問	4Q1. 所属する部会または支部(以下、部会・支部という)の活動内容をおおよそ知っていますか。
	4Q2. 所属する部会・支部の活動内容をどのようにして知り得ますか。
	4Q3. 所属する部会・支部の活動に、おおよそどの位の頻度で参加していますか。
	4Q4. 部会・支部の活動にほとんど参加していない理由をお聞かせ下さい。
	4Q5. 部会・支部の活動は、二次試験を受験するための IPD として有効ですか。
	4Q6. 修習技術者として部会に希望したいことをお聞かせ下さい。

1. アンケート対象者の基本データ

技術士制度において、あなたの立場をお答え下さい。

1Q1. 技術士制度において、現在のあなたに該当する項目を一つ選んで下さい。

- 修習技術者(技術士一次試験合格者)
- 修習技術者(認定された教育課程(JABEE)の修了者)
- 技術士補(技術士補登録者)
- その他()

1Q2. あなたは修習技術者または技術士補(以下修習技術者という)になってから、どのくらいの年数ですか。

- 1年以内
- 2年程度
- 3年程度
- 4年程度
- 5年程度
- 5年～7年程度
- 8年～9年程度
- 10年以上

1Q3. 現在のあなたの職業を一つ選んで下さい。

- 公務員
- 団体職員
- 会社員
- 教育関係者
- 学生
- 個人事業者
- 一般・その他

1Q4. あなたが技術士二次試験を受験する場合の技術部門を一つ選んで下さい。

- 機械
- 船舶・海洋
- 航空・宇宙
- 電気電子
- 化学
- 繊維
- 金属
- 資源
- 建設
- 上下水道
- 衛生工学
- 農業
- 森林
- 水産
- 経営工学
- 情報工学
- 応用理学
- 生物工学
- 環境
- 原子力・放射線
- 総合技術監理

1Q5. 技術士二次試験受験には、3つの方法による実務経験が必要です。あなたはどの方法で実務経験を積む予定ですか。一つ選んで下さい。

- 技術士補に登録し、指導技術士の下で4年間(総合技術監理部門は7年)を超える期間の実務経験を積む。
- 優れた指導技術者の下で4年間(総合技術監理部門は7年)を超える期間の実務経験を積む。
- 7年を超える期間(総合技術監理部門は10年)の独自の実務経験を積む。

1Q6. 技術士二次試験受験の実務経験において、あなたの所属する機関に指導者はおりますか。(複数選択も可)

- 指導技術士がいる。
- 指導技術者がいる。
- 指導技術士、指導技術者もない。
- その他()

1Q7. 技術士二次試験の受験予定はいつ頃ですか。一つ選んで下さい。

- 既に受験した。
- これから受験する予定である。(1Q9. に進んで下さい)
- 当面、受験予定はない。(1Q10. に進んで下さい)

1Q8. 最初に受験した時期を選んで下さい。

- 平成18年度以前。
- 平成19年度。
- 平成20年度。
- 平成21年度。
- 平成22年度。

1Q9. 今後の受験予定を一つを選んで下さい。

- 1年以内(次回試験)。
- 1～2年程度の準備期間を経て受験。
- 3～4年程度の準備期間を経て受験。
- 5年程度以上の準備期間を経て受験。
- 今年度の二次試験の結果をみて判断する。
- その他()

1Q10. 技術士二次試験の受験回数を一つを選んで下さい。

- 1回
- 2回
- 3回
- 4回
- 5回以上
- 受けたことがない

1Q11. 修習技術者になってからの具体的な修習方法についてを選んで下さい。(複数選択も可)

- 日本技術士会が行っているCPD(継続研鑽)行事に参加している。
- 学協会が行っているCPD(継続研鑽)行事に参加している。
- 企業内で行っているCPD(継続研鑽)行事に参加している。
- 指導技術士の指導を受けている。
- 指導技術者の指導を受けている。
- 企業内のOJTにより修習している。
- 特にCPD(継続研鑽)行事には参加していない。
- 独自学習を行っている。
- その他()

1Q12. 技術士二次試験受験要件である実務経験について、日本技術士会に支援を望みたいことはありますか。

- CPD(継続研鑽)行事の参加記録を実務経験に加えて欲しい。
- 自分の所属組織には技術士がいないので、指導技術士を紹介して欲しい。
- 指導技術者の条件、手続き方法などについて教えて欲しい。
- 実務経験に該当する業務の条件について教えて欲しい。
- 実務経歴書の書き方について相談したい。
- その他(実務経験に関する支援希望を自由に記載して下さい)

2. IPD制度・ガイドブックに関するアンケート

<参考>

日本技術士会のCPD(継続研鑽)制度は、技術士法第47条(技術士の資質向上の責務)に基づき、技術士を対象に実施、申請、登録、監査する一連のシステムである。CPD(継続研鑽)は、一般技術者にもますます重要になっており、現在の技術士を対象とした制度を、修習技術者まで拡大サービスすることが期待されている。

研修委員会は、修習技術者にも、技術士CPD(継続研鑽)制度と同じようなサービスレベルに向上するか否かを判断するため、あなたのCPD(継続研鑽)／IPD(初期専門能力開発)に関する考えをお聞かせ下さい。

2Q1. 日本技術士会が提供している年間修習講座を知っていますか。

- 知っている。
- 知らない。
- その他()

2Q2. 日本技術士会が提供している研修講座と研修行事を活用していますか。

- 研修講座と研修行事の両方を活用している。
- 研修講座を活用しているが、研修行事は活用していない。
- 研修講座は活用していないが、研修行事を活用している。
- 研修講座、研修行事の両方とも活用していない。
- その他()

2Q3. 日本技術士会発行「修習技術者のための修習ガイドブック」(以下「ガイドブック」という)を知っていますか。(持っていますか。使っていますか。)

- 知っている。持っている。使っている。
- 知っている。持っている。(使っていない)
- 知っている。(持っていない)(使っていない)
- 知らない。(持っていない)(使っていない)(2Q7. に進んで下さい)
- その他()

2Q4. 「ガイドブック」に則り、修習計画を作成して修習を実施していますか。

- 修習計画を作成して修習を実施している。
- 修習計画は作成しているが、計画どおりの修習は実施していない。
- 修習計画は作成していないが、修習は実施している。
- 修習計画を作成していない。修習も実施していない。
- その他()

2Q5. 「ガイドブック」には、経歴を積んでいくための事例を掲載してありますが有効に活用していますか。

- 活用している。
- 活用していない。
- 知らない。
- その他()

2Q6. 「ガイドブック」の具体的な活用事例を紹介して下さい。

2Q7. 「ガイドブック」に追加希望する記載内容を紹介して下さい。

2Q8. 修習を実施するうえで、日本技術士会に支援を期待する事項を選んで下さい。(複数選択も可)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 修習プログラム事例の提供。 | <input type="checkbox"/> 修習プログラムに沿った研修会の実施。 |
| <input type="checkbox"/> 修習カリキュラムの作成方法。 | <input type="checkbox"/> 継続教育プログラムの提供。 |
| <input type="checkbox"/> 修習プログラムを実施する教材。 | <input type="checkbox"/> 指導技術士の条件、手続き。 |
| <input type="checkbox"/> 指導技術士の条件、手続き。 | <input type="checkbox"/> IPD 記録システムによる管理。 |
| <input type="checkbox"/> 修習機会の地域間格差の是正。 | <input type="checkbox"/> 指導技術士の紹介。 |
| <input type="checkbox"/> その他() | |

2Q9. 「ガイドブック」は、技術士二次試験(筆記)を受験するための IPD として有効ですか。

- 大いに有効である。
 どちらかと言えば有効である。
 わからない。
 受験には有効でない。(受験にはほとんど役立たない)
 受験のための IPD としては全く有効でない。(受験には全く役立たない)
 その他()

2Q10. 「ガイドブック」は、技術士二次試験(口頭)を受験するための IPD として有効ですか。

- 大いに有効である。
 どちらかと言えば有効である。
 わからない。
 受験には有効でない。(受験にはほとんど役立たない)
 受験のための IPD としては全く有効でない。(受験には全く役立たない)
 その他()

2Q11. 技術士二次試験(筆記)受験に向け、具体的な受験準備方法を選んで下さい。

(複数選択も可)

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 市販の過去問題集による受験準備。 | <input type="checkbox"/> 通信教育の受講。 |
| <input type="checkbox"/> 実力養成講座などの受講。 | <input type="checkbox"/> 学・協会等発行資料による受験準備。 |
| <input type="checkbox"/> 社内研修などの活用。 | <input type="checkbox"/> 「市販技術誌」(月刊誌など)による受験準備。 |
| <input type="checkbox"/> 大学教材による受験準備。 | <input type="checkbox"/> その他() |

2Q12. 修習技術者として、日本技術士会にも期待することは何ですか。下記項目にあれば選んで下さい。(複数選択も可)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 技術士制度の普及・啓発。 | <input type="checkbox"/> 修習技術者への情報提供の強化。 |
| <input type="checkbox"/> 技術士の知名度向上。 | <input type="checkbox"/> 他学協会との連携強化。 |
| <input type="checkbox"/> JABEE への情報提供の強化。 | <input type="checkbox"/> 講演会、セミナーなどの案内。 |
| <input type="checkbox"/> CPD・IPD 活動の登録・記録。 | <input type="checkbox"/> ガイドブックの改訂。 |
| <input type="checkbox"/> 技術士独占業務の拡大。 | <input type="checkbox"/> 月例研修会教材の提供 |
| <input type="checkbox"/> 技術士メリットの徹底。 | <input type="checkbox"/> 修習カリキュラムの提供。 |
| <input type="checkbox"/> 修習カリキュラム実施教材の提供。 | <input type="checkbox"/> 技術士会費に見合った対価(質・量)の向上。 |
| <input type="checkbox"/> その他(以下に自由記載) | |

3. 技術士会への入会に関するアンケート

3Q1. 技術士二次試験に合格し技術士になった場合、正会員として日本技術士会に入会しますか。

- 入会する。
- どちらとも言えない。(3Q4. に進んで下さい)
- 入会しない。(3Q3. に進んで下さい)

3Q2. 入会する主な目的は何ですか。(複数選択も可)

- 技術士の資格を生かして業務を実施する。
- 日本技術士会の情報提供を受ける。
- 会員資格を有効に活用する。
- 技術士活動に参画する。
- その他()

3Q3. 技術士になっても、正会員として日本技術士会に入会しない理由は何ですか。(複数選択も可)

- 入会金が高い。
- 年会費が高い。
- 入会してもメリットがわからない。
- その他()

3Q4. 入会可否で悩む理由は何ですか。(複数選択も可)

- 入会金が高い。
- 年会費が高い。
- 入会してもメリットがわからない。
- その他()

3Q5. 技術士二次試験の準備において苦勞していることがありましたら参考にお聞かせ下さい。

また、日本技術士会への要望がありましたらあわせてお聞かせ下さい。

4. 部会に関するアンケート

4Q1.所属する部会または支部(以下部会・支部という)の活動内容をおおよそ知っていますか。

- 知っている。
- 知らない。
- その他()

4Q2. 所属する部会・支部の活動内容をどのようにして知り得ますか。

- 月刊「技術士」の会合・行事予定。
- 所属部会から開催案内。(同報メールなど)
- 会員からの連絡。
- 知り得る方法がない(4Q5.に進んで下さい)
- その他()

4Q3. 所属する部会・支部の活動に、おおよそどの位の頻度で参加していますか。

- ほとんどに参加している。(4Q5. に進んで下さい)
- 2/3程度参加している。(4Q5. に進んで下さい)
- 1/2程度参加している。(4Q5. に進んで下さい)
- 1/3程度参加している。(4Q5. に進んで下さい)
- ほとんど参加していない。
- その他()

4Q4. 部会・支部の活動にほとんど参加していない理由をお聞かせ下さい。

4Q5. 部会・支部の活動は、二次試験を受験するための IPD として有効ですか。

- 大いに有効である。
- どちらかと言えば有効である。
- わからない。
- 受験には有効でない。(受験にはほとんど役立たない)
- 受験のための IPD としては全く有効でない。(受験には全く役立たない)
- その他()

4Q6.修習技術者として部会に希望したいことをお聞かせ下さい。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。